

**「何故いけないのか」を言える人になる為に！！**

## **～ ネットワークビジネス脱会マニュアル～**

**MLM（ネットワークビジネス）を人間心理から分析する！！**

**精神操作により意識改革された者達が、  
次々と新たな精神、経済被害者を生み出してゆくビジネス。  
その根源となるマインドコントロールミーティング。**

**今まで誰も語れなかった視点で、  
MLM（マルチレベルマーケティング＝ネットワークビジネス）の  
本質を見つめ、破壊される人間的感覚まで全てを暴く！！**

NPO ネットワークビジネス問題提起研究会 世相 人

.....  
この度は、ネットワークビジネス脱会マニュアルをご覧頂き、誠に有難う御座います。  
某放送局勤務の後、執筆業並びに経営を致しておりますネットワークビジネス問題提起研究会、世相 人と申します。  
ネットワークビジネスディストリビューターが引き起こす社会問題は、世間でも多くの被害が、そのビジネス  
システムにより表面化され続けております。

では実際にネットワークビジネスについて、どれだけの方々が正しく理解し「NO！」と言い切る事が出来る  
でしょうか？今までにお身内やご家族などから実際にビジネスの紹介を受け、その際「NO！」と言い切れなかつ  
た皆様には、是非とも当書籍をお読み頂き、「ネットワークビジネスの危険性」についてご理解頂きたいと考えます。

また、「脱会の方向への説得」を試みる場合も、何の資料も提示せず、ただむやみに「感情的な否定」をするの  
では、解決の糸口は掴めません。ポイントになる点は、当書籍の以下【見出し】に御座います内容に基づいて話を  
することと、その際、当書籍のような、「紙媒体」を、直接当人に手渡し、後で自ら読めるようにしてやる事が  
重要」です。また「正式な話し合いの場」を設けて、当書籍を読み聞かせる事は、非常に有効でしょう。

当書籍は決して偏った意見ではなく、「ネットワークビジネスをやらない！」という、  
世間の大多数の人達の、「本質意見の集大成」とお考え頂ければ幸いです。

私は現在まで何人もの友人をネットワークビジネスより脱会させ、その際の当人の精神状況なども、  
長時間に渡り伺いながら、細心のケアを、愛情の下に行ってきたつもりです。

ネットワークビジネスに入魂する彼らは、マインドコントロール状態の中で夢を見ています。  
そのマインドコントロールを解く材料を、より社会心理学の視点から分析し、皆様にご提供できればと考え、  
当書籍を制作させて頂くに至りました。

このネットワークビジネス脱会マニュアルを通して、「人間の欲望は時に人を傷つける事もある」という事実を、  
是非皆様にも改めてご理解頂き、「NO！」と言える人間的な価値判断能力を身につけていただきたいと願って止み  
ません。是非、本情報を必要な皆様にご購読頂ければ幸いです。

当会の情報に基づいて被ったいかなる損害についても一切責任を負いかねます。  
当書籍を利用し脱会を試みる場合も、当会に責任は無くまたそれを了承するものとします。  
また当書籍には著作権が御座います。インターネット上に許可無く掲示、またはコピーで多人数に配るなどの行為はなさらず、  
なるべくお買い求め頂くようお願い申し上げます。 NPO ネットワークビジネス問題提起研究会

.....

## 【はじめに】

この「ネットワークビジネス脱会マニュアル」は、

「お身内ご家族がネットワークビジネスにはまり、  
その脱会させる方法が解らない深刻な方」

「今までご友人に誘われたが、どう反論していいか分からず、  
“本人の選択の自由”として放置してしまった方」

「現在ディストリビューターで、決して内部では  
語られる事の無いネットワークビジネス仲間以外の  
正しい情報も得たい方」

などに読んで頂く事により、ネットワークビジネスディストリビューターが引き起こす社会問題の、「何処がどういけないのか？」という部分を、正しく認識して頂き、そして、「経済的成功」という形をMLMで目指す、彼らディストリビューターの夢を、ネットワークビジネス以外で「自ら見出し出せるようにする為の意識改革」を目的とした内容で構成されております。またお身内ご家族が、愛情の下に直接この書籍を、入魂する当人に渡して差し上げる事でも、より人間的な価値判断能力を取り戻すきっかけとなる事でしょう。

## << 本文目次 >>

### ～ 第一章 ～

- 1 :【常識人としての意見】
- 2 :【どうやってマインドコントロールされるのか？そのトリックを暴く！！】
- 3 :【意識とは違う行動を取らされてしまう集団真理】
- 4 :【様々な職業の人達がやっているネットワークビジネス】
- 5 :【リスク面を最初に伝えないネットワークビジネス】
- 6 :【自由選択意思を破壊されるマインドコントロール】
- 7 :【躁（そう）状態の日々が続き自分の本当の姿を忘れる】
- 8 :【ビジネスを紹介する側も掛かっている事に気付いていないマインドコントロール】
- 9 :【興味があるか無いかの篩（ふるい）にかけられ選別される】
- 10 :【興味があり篩に残った人たちのその後】
- 11 :【みんなの前で宣言（コミット）させられる事で逃れられなくなる】
- 12 :【ベンツには乗りたいけど、まだ心配な部分がある】
- 13 :【最後に聴く種明かしミーティング】

## ～ 第二章 ～

- 14 :【ネットワークビジネスの裏側で起きている現実】
- 15 :【自分の努力の無さに転嫁させられてしまう】
- 16 :【成功者と呼ばれる人達の殆どは経済的成功者ではない】
- 17 :【安定収益を得られる成功者になれる確率】
- 18 :【ネットワークビジネスディストリビューターの上下関係・表と裏の顔】
- 19 :【辞めるに辞めれない後腐れのある人間関係ビジネス】
- 20 :【世の中のネットワークビジネスがいけないと考える人の思考とは】
- 21 :【返品システムがあるのに何故返品しない人が多いの？】
- 22 :【自分も成功者の気分に】
- 23 :【まったく語られることの無い「紹介責任」について】
- 24 :【ガンに効く健康食品??その紹介責任 善意とは何ですか??】
- 25 :【よく言われる芸能人がやっていると言う話】
- 26 :【価値判断能力の無い、若者層がターゲットに  
なってしまう危険性 社会的モラルの向上の為に】
- 27 :【某有名企業自らが認めたスポンサリングの限界・数値】
- 28 :【ネットワークビジネスによる自殺者・殺人事件が起きている現実】
- 29 :【それでもあなたはネットワークビジネスをやりますか?】

## ～ 第三章 ～

- 30 :【自分から発した系列の何処かで必ず苦痛を味わう人が出る怖さ(紹介責任)】
- 31 :【ノーベルのダイナマイトのように賞賛されるべき発明が  
悪夢の発明になってしまうような事です】
- 32 :【これだけの苦痛を味わう被害者が出ていても、法では排除しきれない資本主義の現実】
- 33 :【ネットワークビジネスを辞めさせるにはどうしたらいいの??】
- 34 :【普通の社会的な良心がある人なら確実に「人間不信」になってしまう現実】
- 35 :【ディストリビューターの反論パターン・行動パターン】
- 36 :【成功者のビデオはオウム真理教で言うイニシエーション??】
- 37 :【今やっているネットワークビジネスに疑問を感じている人へ!】
- 38 :【一般経営者とネットワークビジネスディストリビューターの違い】
- 39 :【戦意喪失してしまう理由は人間的な精神の作用です】
- 40 :【有機質に??無機質に??どう生きるのが素晴らしいのでしょうか?】
- 41 :【私の為??私の成功の為??どちらが純粋な愛情だと思いますか?】
- 42 :【懲りずにネットワークビジネスに再び手を出す人達が分かっている事】
- 43 :【不思議な感覚 マインドコントロール状態は気持ちがいい?】

## ～ 第四章 ～

- 44 :【人として生きる上での大切な“心”を忘れずに経営者を目指そう!】
- 45 :【アフィリエイトの段階報酬制度とMLMの違いを考察する】
- 46 :【本当の脱会はアップにポイント還元されなくなった時から】
- 47 :【ビジネスの方法が特許になる。ビジネスモデル特許出願】
- 48 :【簡単には成功は出来ない!それが分かっているのなら、  
何をすべきでしょう?(成功哲学の話)】

49 :【人間にとっての幸せとは何か。経営者？雇用者？お金？時間？愛情？健康？】

50 :【人間にとっての幸せとは何か。経営者？雇用者？お金？時間？愛情？健康？】

51 :【この書籍と巡り合った皆様へ】

52 :まとめ【何故いけないのでしょうか？「いけません！」とちゃんと言える人になろう！！】

53 :理想論【ネットワークビジネスはこうあるべきだ！！】

54 :【あとがき】

55 :【本情報に対するご理解】

56 :【ご購入方法・販売方法】

## ～ 特別章（別冊）～

1 :【脱会させるまでの心理的移行と、その周囲がどのように支えていくべきか？】

2 :【脱会させるタイミングや当人の精神的動向を察知しましょう】

3 :【話し合いの場を設けましょう 環境条件・用意して置く物】

4 :【話し合いの現場においての駆け引き】

5 :【真剣に話しているにも関わらず、話を聞かない場合】

6 :【説得により、偽りの世界に居た事に気付いてからの当人の精神状況】

7 :【紹介した人達に対してはどのようにしたら良いのか？】

# 「ネットワークビジネス脱会マニュアル」

## ～ 第一章～

### 1 :【常識人としての意見】

皆さんはじめまして。ネットワークビジネス脱会マニュアル著者であります、  
NPO ネットワークビジネス問題提起研究会、世相 人と申します。

さて皆さん、

まずは“常識として考えて頂きたい”のです。

世の中にネットワークビジネスがなければ、それに対する誹謗中傷を主としたような  
意見をお持ちの方々も出てこないのではないのでしょうか？

「世の中火の無いところに煙は立たない」とも申します。

ビジネスで行うディストリビューターの方たちは、「自分達の方法論またはシステムが原因」になり、  
「世の中で苦痛を味わう人達を沢山作り出してしまっているという“事実”」を、  
謙虚に受け止めるべきように思います。またその“ネットワークビジネスシステム”という  
ビジネスの危険性をどれだけのディストリビューターが正しく理解しているのでしょうか？

当書籍はその危険性について詳しく分析を行いながら、皆様にもわかり易い形で、そして、現在ネットワークビジネスに入魂する方々の、一般的な人間的価値判断能力を、当書籍をきっかけに取り戻して頂き、また、ネットワークビジネス以外のビジネスをする際には、一から経営者としての心構えなども勉強して頂く機会になればと考えております。

早速本題に入りますが、  
まず世の中は、「自然競争の原理」というものが御座います。  
各企業、しのぎを削って最良の商品を世の中に提供する為に競い合っています。  
もちろんその中に様々なネットワークビジネス企業も存在するわけですが、  
ネットワークビジネスディストリビューターの方々が誇張するように、  
全ての製品において「自社製品が世の中で一番だ!」というような事は“ありえません”。

この誇張の仕方は、例えば、合成成分で出来ている洗剤にもかかわらず、「天然成分の洗剤です」  
などと、在りもしない話しに歪曲されてしまうという事実は良く聞く話であり、  
これは誇張の一部でしかありませんが、違法の線に触れるケースも多々あるのです。  
その情報伝達の不確かさが「口コミの現実」なのです。

また「同じ商売をするグループ仲間という一つの世界」の中では、  
「これぐらいの嘘ならばいいだろう」というように、事実無根の情報ですら、  
真実の情報であるかのように語られてしまうという、組織の怖さを呈しています。

またネットワークビジネスで最も危険だと言えるのは、  
ネットワークビジネスディストリビューターが日々行う、  
「説明会」または、「ミーティング」と呼ばれる会合の存在です。

このミーティングは、「誰もが持つ人間の弱い部分に入り込む形」で、特に、

- 1 : 「自分なりの幸せの形を開拓できていない人」や、
- 2 : 勧誘される段階で、「経済的に満足していない人」に対して、

「夢の形」や、「経済的成功」といった話を継続的に何度も聞かせる事により、  
聞かされる当人の潜在意識に存在する“心の弱い部分を刺激する形”で、  
「マインドコントロール」という手法を使ったミーティングが行われています。

またあくまで「自己責任」という言葉の暴力のもとに、営業センスも無く、  
経営者意識も無い人々に対して、ビジネスの紹介が繰り返されている  
事も非常に疑問です。

#### <客観的背景>

これらミーティングは、どのネットワークビジネスシステムを取り入れる企業でも、  
その販売員であるディストリビューターのグループ上層部の者達により企画運営されている  
ことが多く、上層部の者達が「マインドコントロールミーティングである事も“自ら認識しながら

開催 ” する会合 」によって、マインドコントロールの認識が無いディストリビューター達の、潜在意識に潜む心の弱い部分に対し、「このビジネスで “ 夢や経済的成功 ” を補うことが出来るのです！」といった「意識の方向付けを継続的にコントロール」し、人の人脈を通じて連鎖的にネットワーク化させてゆく仕組みで、莫大な商品流通を起こしています。

また、その売り上げの一部がボーナスとして還元されるシステムにより、個人でも収益をあげて行けると謳われるビジネスです。商品として扱われるものは、「消費されるもの」で、流通の継続性を図る事で、「権利的な収入」に結び付けて行こうとするビジネスですが、大多数の人達が損益を抱えながらビジネスを辞め、人間関係が壊れ、精神被害者を続出させているといった事が、後を絶たない現実があるのです。

おおまかな客観的背景は上記の通りですが、以下には、そのミーティングの危険性である、マインドコントロールが行われていく具体的な手段について説明させていただきます。

## 2 :【どうやってマインドコントロールされるのか？

### そのトリックを暴く！！】

皆様は「マインドコントロール」という言葉をご存知でしょうか？

ネットワークビジネスをされているディストリビューターの方々が “ 一番知らない部分 ” で、私は “ 最も危険である ” と考えていますが、それらには、「ミーティング」というものがあり、「それを繰り返していく段階で、マインドコントロールを潜在意識の中に入れ込んでいく環境」が設けられており、「マインドコントロール状態の人間を量産する形」で、ネットワークビジネスというビジネスが唯一成り立っています。

ミーティングには色々な物があり、「大きな会場を借り切って行うもの」、または、「ホームパーティー形式のミーティングを行う事」も非常に多く、誘われる人は、危機管理意識の薄れた精神状態である事も、マインドコントロールにかかってしまう大きな要因です。

通常のテレビやラジオなどで流れるCMなどもマインドコントロールなのではないかと、疑問を持たれる方々も多い事かと思いますが、マインドコントロールとは、簡単に申しますと、「人の心の弱い部分を長時間にわたり刺激し続け、人の行動を一定方向に向けてしまう事」といった「精神のコントロール」であり、俗にマインドコントロールと呼ばれる手法は、「情報の制限」という手法を用いています。ミーティング会場などで、「長時間イスに座らされ、話を聞かなければいけない」といった状況の、逃げられない環境下や、「人間関係の下」では、「話を聞かなければいけない」といった心理状況下にある中で、潜在意識の中の思考を変化させられてゆくのです。

テレビやラジオで流れているCMに関しては、自由競争のもと、同品種の製品のCMなども、同一メディア上（TV画面など）にて多数放送されています事や、情報を受け取る側は、その「情報に対して何時でもチャンネルを替える事ができる自由な環境」があるわけです。イコール「情報の制限は行われていない」という事になります。当書籍においても、何時でも自由にトイレに行けたり、「この本を読まなければいけない」などという外部からの心理的圧力は何一つ無い状態ですので、“情報の制限は行われていない”という事になります。

では以下に、その「人の心の弱い部分を長時間にわたり刺激し続け、人の行動を一定方向に向けてしまう事」である、マインドコントロールの仕組みを利用した、ネットワークビジネスにおける、ミーティングの全貌を明らかにして参りましょう。

「ネットワークビジネス全般におけるミーティング（説明会）の手法はほぼ同じ」ですので、日本におけるネットワークビジネス有名企業の、A社ディストリビューターにおける「マインドコントロールミーティングの具体例」でご説明して参ります。

最初に聞くミーティング（説明会）である「OM（オプチュニティーミーティング）」にて、その「トリック」をご説明いたします。

ディストリビューターはまず、

「夢が叶う！とりあえず凄いビジネスなんだ！」

「どんな人でも出来るビジネスなんだ！」

「まず聞いて見るといい！」

「思っているイメージと違うから！」

などという誘い文句により、

「“ビジネスに対して疑問を持たせる”と言うテクニック」から、

OMミーティング会場に誘い出します。

OMミーティング会場に集まった、約100名の視聴者がいたとします。

よく考えれば解ることですが、「その半分は“初めてきた人”」であり、後の半分はビジネスを現在進めているディストリビューターなわけです。

（この部分を理解できていない方も多いのではないのでしょうか？）

このビジネスは、人にビジネスの紹介をして、自分以下の商品流通量を増やしていくのが、ネットワークビジネスシステムですので、現在ビジネスをやっている人達が、

「新たなビジネス候補者」を連れてきている為、その“半分は初めてきた人”であり、

“あとの半分はビジネスを現在進めている人達”という事になります。

ですが、始めて会場に連れて来られた人の多くは、

「その状態に気付いていない」、方々も多く、「そこにいる殆どの人たち」が、  
「現在そのビジネスをやっているかのように見えてしまうトリック」が  
まず最初に存在します。

### 3 :【意識とは違う行動を取らされてしまう集団真理】

以下は、A社におけるミーティングでの商品説明の一部始終です。

洗剤のデモンストレーションから始まります。(他色々な製品デモあり)

デモをする人：「ほらこんなに汚れが落ちました！」

視聴者：「うおー！！(拍手喝采)」

この時点でもう「マインドコントロールの図式」が始まっているのです。

人間であればほぼ全ての人が、  
「周りが拍手をしていれば、自分も拍手をしなければならない」という、  
「集団心理」の意識が働きます。

初めて連れて来られた人は、本当は「洗剤で汚れが落ちるくらいどうでもいいことだ」と  
心の中で思っていたとしても、周りの半分以上の会員の人達が拍手喝采をする中で、  
もしくは自分を誘った友人が拍手をしている事で、それに“釣られて”拍手をして  
しまいます。

この時点で「自分の意識とは違う行動を取らされている図式」が出来上がります。

またこのミーティングを数回続けて聞かされる事により、  
その状態や感覚に、“精神部分が慣らされてしまう”のです。

初めて聞くミーティングでは、そのネットワークビジネス企業の商品の説明や、  
または、「自分なりの幸せの形を開拓できていない人」の心に響かせる為には、  
「このビジネスであなたも夢を叶え自信を得る事が出来る！」という話を。

また、「経済的に満足していない人」の心に響くように、「このビジネスで経済的成功が得ら  
れる！」といった、全ての人において当てはまる話術で、約90分~120分程度(場合によ  
ってはもっと時間が長い場合もあります)、「知り合いの紹介で会場に連れて来られたという、  
人間関係の見えない圧力」により、“自由に身動きをとる事が出来ない雰囲気”の中で、  
我慢しながらその話を聞く事になります。

このような状態の中で、

「自分の意識とは違う行動を取らされていく事を繰り返していく」と、  
「どうでもよい」と思っていた、その製品デモンストレーションでも、



「なんだかとても良い製品に見えてきてしまう」のが、上記に記した  
「心の弱みに付け込んだマインドコントロールのトリックの一部」です。

#### 4 :【様々な職業の人達がやっているネットワークビジネス】

更に OM と呼ばれるミーティングでは、それぞれの「ピンレベルの人達の紹介」  
(成功者の紹介)というコーナーがあります。そこでは、「このビジネスをした事で、  
ボーナスを受け取った人達の紹介コーナー」に移る訳ですが、  
非常に様々な職業の人達が集まっています。

初めてきた人達は、抱いていたイメージよりも、  
まったく普通の人達がやっている事に驚く事でしょう。

医者、先生、主婦、フリーターまで様々な人達が賑やかにその現場にいる事でしょう。

しかしそれは、  
「自分なりの幸せの形を開拓できていない人」や、  
「経済的に満足していない人」が、そのマインドコントロールの危険性を一切知らずに、  
「自らもマインドコントロールにかかっている事にも気付かずに、  
集まっている現場」に過ぎません。

それは、言い換えると、  
どんなに世間的に偉く、普通に幸せに生きている人に見えても、  
こと“内面において”は、「幸せの形を得られている人は非常に少ない」という  
日本の「世の中の現実」も表していると言えるでしょう。

またある意味、それら心の隙は、  
「どの立場の人間においても存在する」という事が言えるのだと思います。

また特に、「世間的に信頼を得られやすい職業の人たち」の言う事を  
非常に「信頼してしまいやすい人たち」も世の中に沢山いるという現実もあるでしょう。

人は年齢に関わらず、“自分の目の前に起きている現象”を、  
“世の中の全てに起こっている現象だ”と錯覚しやすいものです。

その会場に、  
特に「自分の信頼のおける人たちからの誘いで行った場合など」は、  
安心の下に“危機意識が低下”してしまっていたり、また、「世間的に信頼できる職業の人  
たちがその場にいるという安心感」で、“どんな人達でもやる安全なビジネスなんだ”と  
錯覚してしまう“状況・環境設定”も、マインドコントロールの手法の一つなのです。